



平成29年度 同窓会入会式

■平成30年2月28日(水)

卒業式の前日に、毎年同窓会入会式が開催されています。今年は223名の卒業生が晴れて同窓会の会員となりました。母校体育館は凛とした雰囲気の中で生徒たちの着席する姿勢も話を聞く態度も素晴らしいものがありました。前田校長の挨拶に続いて、藤江同窓会会長からは、「30,000名を超える同窓生の中には海外で活躍している方もいます、皆さんもグローバルに活躍してください、そして一番はこの地元・故郷を育てて欲しい、故郷のためにも頑張ってください、東高校を卒業したことに誇りが持てるような人になってください。個人・団体でも困ったことがあったら遠慮なく相談してください、そのような窓口も設けております。」と挨拶しました。

入会のことでは、生徒代表の壁屋 臣君が「私たち第70回卒業生は、只今、本校同窓会に入会することを認められました、誠にありがとうございます。思い返してみると、3年間でたくさんのことを学びました。今後、私たちは嘉穂東高校で学んだことを生かしてそれぞれの進路へと旅立っていきます、そして、本校の卒業生としての誇りと同窓会の会員であるという自覚を持ち、日々精進を重ねていくことを誓います。」と力強く挨拶しました。



嘉穂東高校同窓会奨学金授与式

■平成30年3月19日(月)

「嘉穂東高校同窓会奨学金」の授与式を開催致しました。同窓会給付型奨学金が創設され今年で4回目を迎えます。

今年は平成30年3月19日に母校校長室にて、校長推薦で選ばれた2名の生徒に藤江同窓会長より直接、奨学金が手渡されました。(父兄同席のもと)

この制度が、より高い目標を持ち努力を続けている生徒の一助になればと願っています。



高校48回生・49回生 同窓会委員への当番説明会

■平成30年2月13日(火)

役員会主催で、来年当番を迎える48回生(平成8年卒)、再来年当番を迎える49回生(平成9年卒)の同窓会委員を迎え、当番の流れ(実行委員会準備から解散までの概要・組織図の例)のながみプレジデントホテルにて説明いたしました。

早めに声掛けをすることにより、10月の総会・懇親会で「次期当番生」としての準備が少しでもスムーズにいければと思います。また、今回は昨年当番が終了した46回生と、今年の当番47回生も同席され、今後の情報交換のための顔合わせも出来ました。当番生の皆さんよろしくお祈りします。



還暦だより

高校28回生

還暦同期会を開催して

■28回生還暦同期会
写真提供者 佐藤 伸一朗
■平成29年10月21日(土)

のながみプレジデントホテルでの懇親会には34名、その後、場所を移動してグランドベルズの同期会には、更に多くの仲間が集まり、久しぶりの再会に話題は尽きることなく、大いに盛り上がりました。

また、日を変えて、11月11日~12日に天草・雲仙・伊万里へ還暦記念旅行を開催しました。男性3名・女性6名の少人数でしたが、おいしい料理と楽しい会話で還暦を記念するいい思い出ができました。

今回の還暦同期会を機に、今後も定期的に集まる事が出来ればと思います。



創立記念式典は、年に1度、母校の長い歴史を振り返るひとつのきっかけとするために、毎年5月に開催されています。1910年創立の母校は、今年で108周年を迎えます。

平成30年度 創立記念式典及び講演会

■平成30年5月9日(水)

主な講演内容

- 成功のコツは熱意(コツコツがコツ)
- 入学直後の校舎焼失、難を糧とした8回生の結束。
- 無くしたものを数えるより、残されたものに感謝する。
- わが身にふりかかるどんな出来事にも必ず意味がある。
- 一流とは、それに徹しきること。
- 生きていく上でのルールは、自分に負けないこと・人を傷つけないこと。
- 本気とは逃げ出さないこと。



講師の柏木さんは、2才で母と死別され、大卒直前の肺結核、3度のがん手術、夫の難病との闘いなど、理不尽で過酷な体験をされました。そのような環境の中で家族や友人の温かい励ましに助けられ、それを学びとして、自分に負けずに奮起する気持ちは持ち続け、前向きに生きてこられた柏木さんの貴重な体験談をお聞かせいただきました。柏木さんの益々のご活躍を、嘉穂東高校・同窓会一同、お祈りしております。

矢ヶ崎校長の式辞では、「創設者、伊藤傳右衛門氏の教育にかけた思いを忘れてはならない、勉強部活動・生徒会活動などで自分を伸ばす何かにチャレンジしてもらいたい、本校での学びを通して自らの課題に取り組み、他者と協力して解決していくための資質や能力を身に付けて欲しい。」とお言葉がありました。

藤江同窓会会長は、「何のために勉強するか、幸せになるため、幸せとは何か、自分自身を表現すること、自分で考え、自分で道をさがして、自己実現をはかること」とのお言葉のあと、正門にデザインされている前漢鏡とその横の波の意味について説明があり、東校の建つ立岩地域の歴史の重みについてお話しされました。

創立記念講演会

- 講師：柏木順子さん(高校8回生)
演題：「道を拓く」「流たれ」
経歴：平成37年3月
- 福岡学芸大学 国語科卒
 - 田川市公立中学校 国語科教諭
 - 福岡県教育委員会 指導主事
 - 福岡県教育員会筑豊教育事務所 指導主事
 - 福岡県教育センター 主任指導主事
 - 田川市公立中学校 校長
 - 田川市教育委員会 教育長
 - 1997年中学校設立50周年記念式典にて文部大臣表彰。
 - 現在、各方面で講演多数
 - (青少年問題、女性の生き方 等)



創立記念式典

次に校歌斉唱では、全校女子生徒による嘉穂高等女学校の校歌、そして全校生徒による嘉穂東高校の校歌が斉唱されました。

